

## 持続可能な国土管理専門委員会現地視察報告

1. 日 時：平成 17 年 11 月 1 日（火）～2 日（水）
2. 場 所：[11/1] 民有林、木材加工施設を視察（岐阜県中津川市）  
[11/2] 国有林を視察（愛知県設楽町 段戸国有林）
3. 出席者：[委員] 後藤委員、千田委員、牧委員、三好委員、亘理委員  
[事務局等] 国土交通省国土計画局、林野庁、環境省
4. 概 要：

### [11/1]

#### 民有林及び木材加工施設を視察(岐阜県中津川市)



- 加子母地内の民有林(加子母森林組合が案内)。
- 林内路網は良く整備されており林道密度で 22.2m/ha、公道や作業道を含めた路網密度は 39.7m/ha。
- 写真は、複層林施業地で、スギ上木を間伐しスギ下木を植栽



- 人工林生育不良地（ヒノキ）
  - ・ 植栽後、保育作業をしなかった林地。一見、針広混交林のように見えるが、侵入した広葉樹等は高木類が少ない。
  - ・ 整備していないため林内が暗く、下層植生が消滅し、表土が流出している。
  - ・ また、林内でつる類が繁茂しており、高木類の成長が阻害されている。





○間伐未実施林

- ・ 間伐が実施されていない森林。林内は暗く下層植生が発達していない

○ 地元産の木材を加工し意欲的な経営を行なっている共同組合東濃ひのきの家を視察した。



[11/2]

国有林を視察(愛知県北設楽郡設楽町 段戸国有林)



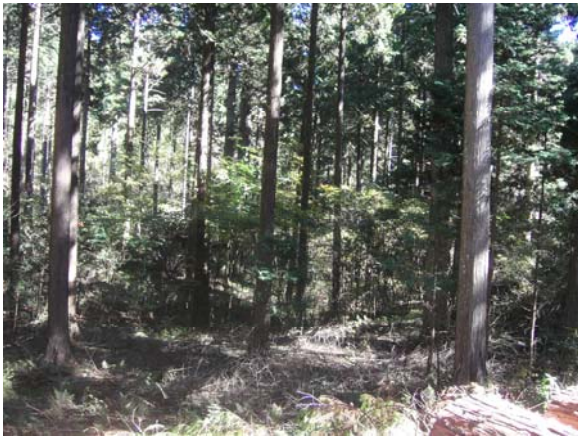
- 針広混交林へ誘導している森林
  - ・ 上木は62年生のヒノキ
  - ・ 下木はH4・5に植栽したブナ、ナラ、カエデ、ホオノキ等
  - ・ 皆伐しない形で次世代に森林を引き継いでいくことを主眼としている(皆伐した場合、林床に光が当たりすぎて藪になるおそれがある)。



- 裏谷原生林(きららの森)
  - ・ 愛知県内では極めて貴重なモミ、ツガ、ブナ(推定樹齢200~300年)が残る温帯性の天然林(植物群落保護林)



- ふれあいの森
  - ・ 国有林内でボランティア団体等が森林づくり、親林活動(森林に親しむ活動)等のフィールドとして利用している。
  - ・ ボランティア団体等の活動が、継続できるかどうかポイント。



○ 180年の森

(人工林長伐期複層伐施業群)

- ・ 180年の大径木を育成して、木曽ヒノキなどの高品質材にも対抗し得る材を生産することを目的とした森林
- ・ 国土保全、景観の保持、保水機能等が発揮される

○ 間伐実施林

- ・ S46に植栽され、H14に3回目の間伐を行なった
- ・ 間伐内容は5.72haで3098本、198.23m<sup>3</sup>、間伐率はスギ27.2%、ヒノキ29.8%

○ スギ複層林施業試験地

- ・ 上木 大正3年植栽
- ・ 下木 昭和61年植栽